

本年もよろしくお願いたします

新しい年が始まりました。お休み中、心も体も充電できましたか？ 冷凍庫の中にあるような寒さが続きますが、体調管理に気を付けて一日一日を完走してまいりましょう！



さて、1月5日（水）、新年互礼会が関係者のみ出席して行われました。

山本社長 年始挨拶より（要約）

皆様、新年明けましておめでとうございます。新春にあたり皆様とご家族のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今年は例年とは違い、長い間会えなかった家族や友人と顔を合わせて楽しく過ごされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

昨年はコロナの感染者が拡大し多大な影響を受けた年でしたが、ワクチン接種が進むことにより、停滞していた社会が大きく進み



始めた年でもありました。その急速な前進によって様々な不安定要素も発生しています。値上げによる生活への打撃、物資の入手が困難であるなど、厳しい経済状況は続いています。会社において営業はしっかりとお客様との声を聞き、技術部は営業からのフィードバックを基に製品に活かし、製造部はそれをカタチにする。みんなで力を合わせることで、どんな厳しい経済状況の中であっても、いつの時代でも表裏一体として常に会社は前進していくことができると思います。

また、今年人事評価制度を導入する方針です（4月以降）。私は入社以来ずっと、この会社には評価制度は必要だと思っていました。今まではきちんとした評価制度がなく、給与面など平等でしたが、私の思いは、平等とは公平ではないと思っています。会社は平等ではなく公平であるべきだと考えます。平等とは、様々な要因を考慮せず、ただ全員に全く同じ対応をすること、公平とは、様々な要因を考慮して個々に対応することです。新しい制度が始まると、必ず問題も出てきます。最初から完璧にできないかもしれないかもしれませんが、いい制度に仕上げていきたいと思っています。ですので協力をよろしくお願いいたします。

今までもお伝えしてきておりますが、会社は利益を出さなければ生き残っていくことはできません。ただ利益を出すことは会社の目標を達成するための手段であって、目的ではありません。利益を出して社内、そして地域に還元し、社会の中で皆様を支え必要とされる存在になることが会社の使命だと思っています。本年も一緒にがんばっていきましょう。

表彰者の皆様、おめでとうございます！



新型コロナウイルスによる打撃は、絶対的に様々な形で私たちの生命や生活に支障をきたしています。不安定な世界情勢の真ただ中でいつ何が起きるか分かりません。会社が存続していくためには、みんなで協力し合うこと、同じ志を持つことが大切です。

組織の中の各個人は当然、考え方や価値観が違うため、ぶつかり合いや意見のずれの違いがありますが、一人ひとりが会社の軸である企業理念に立ち返りながら創意工夫に取り組んでいくなら、目指す方向へ会社全体が進んでいけるのだと、社長の年始挨拶を聞いて決意新たにがんばろうと思えました。

続いて、永年勤続者表彰が行われ、技術部の難波課長が謝辞を述べられました。一日一日積み重ねてこられたご功労に敬意を表し、お祝い申し上げます。



今年も資材課の平岡さんがお花を生けてくださいました。心が浄化されるような美しさです。他にも違う種類のお花を生けてくださっておりますので、ぜひ見に来てください。

勤続年数	所属	氏名	入社年月日
30年	技術部	金田時寛	1991.03.22
	技術部	難波誠	1991.03.22
	重機工場	赤木邦典	1991.03.22
	1係	岩本尋明	1991.03.22
	本社	平澤由紀	1991.12.02
25年	1係	児玉斉宗	1996.03.21
	技術部	嘉寿朝美	1996.03.21
	1係	小川智敬	1996.03.21
	労務課	山田浩司	1996.03.21
	重機工場	山崎浩	1996.04.01
20年	電気係	武島健二	2001.08.01
	工作課	西口尚樹	2006.01.23
15年	仕上	山田将司	2006.04.03
	1係	渡辺悠介	2006.04.03

くお知らせく
一月一七日（月）以降に毎年恒例の抽選会を行います。
お楽しみに！